

半島と干拓が育む

人と大地の物語

昔々、男鹿はアジア大陸(今の中国など)の東のはじにありました。やがて東側に動きだし、大地が裂けて湖ができます。すると男鹿は深くしずみだし、湖は広がって今の日本海ができました。その後、男鹿はもり上がり、島になりました。島になった男鹿は、寄せられた砂で本土とつながり、半島になりました。島と本土の間にあった海は、八郎潟という湖になり、干拓され、新しい大地に生まれ変わりました。男鹿半島・大潟ジオパークでは、このような大地の歴史とそこに育まれた自然、人々との関わり合いを知ることができます。

よく見てごらん。
君の足もと。



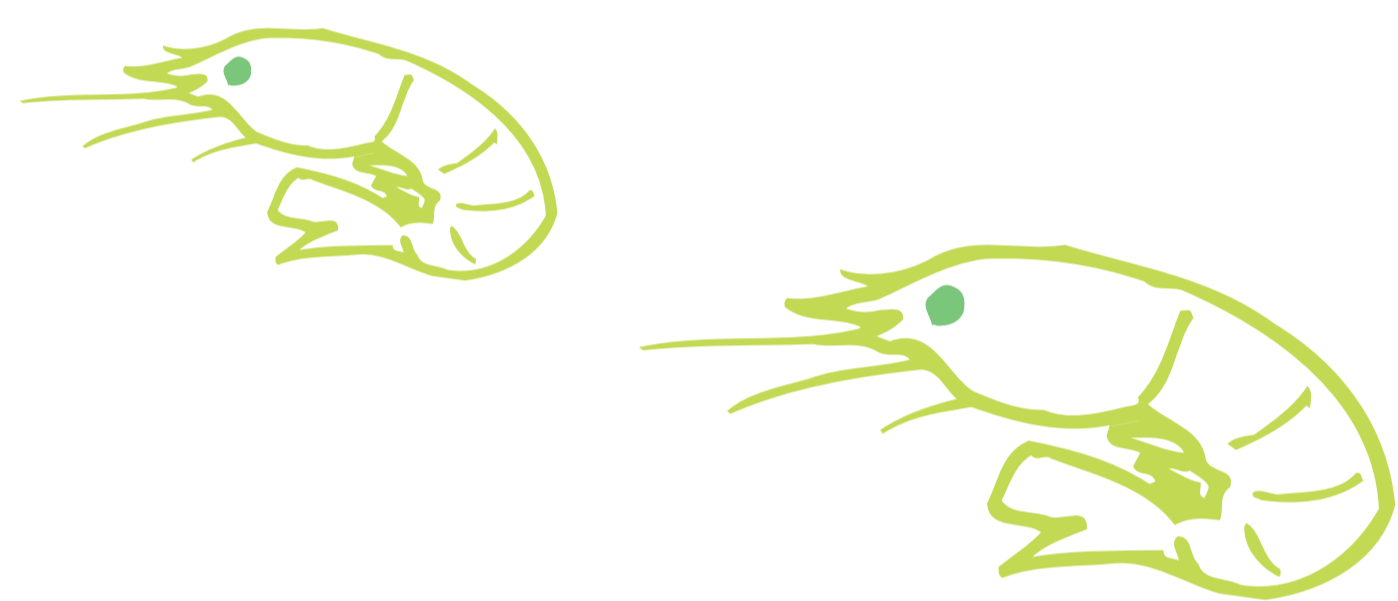
男鹿半島・大潟
ジオパーク

OGA PENINSULA-OGATA GEOPARK



石にヒミツがあるのです

石焼料理に使われるヒミツの石、地元では「金石」と呼ばれています。熱に強く、硬くて重い。まっ赤になるまで焼いた金石の温度は約800度。一瞬で調理された魚は身がプリプリして最高の食感なのです。



いそ磯の香りがたまらない!

「しょつつる」は、秋田県の魚ハタハタから作られた調味料です。濃厚な磯の香りとシーフードの抜群の相性、ソースとは一味違ったクセになる味です。男鹿を代表するB級ご当地グルメ、各店舗の食べ比べも楽しいよ。

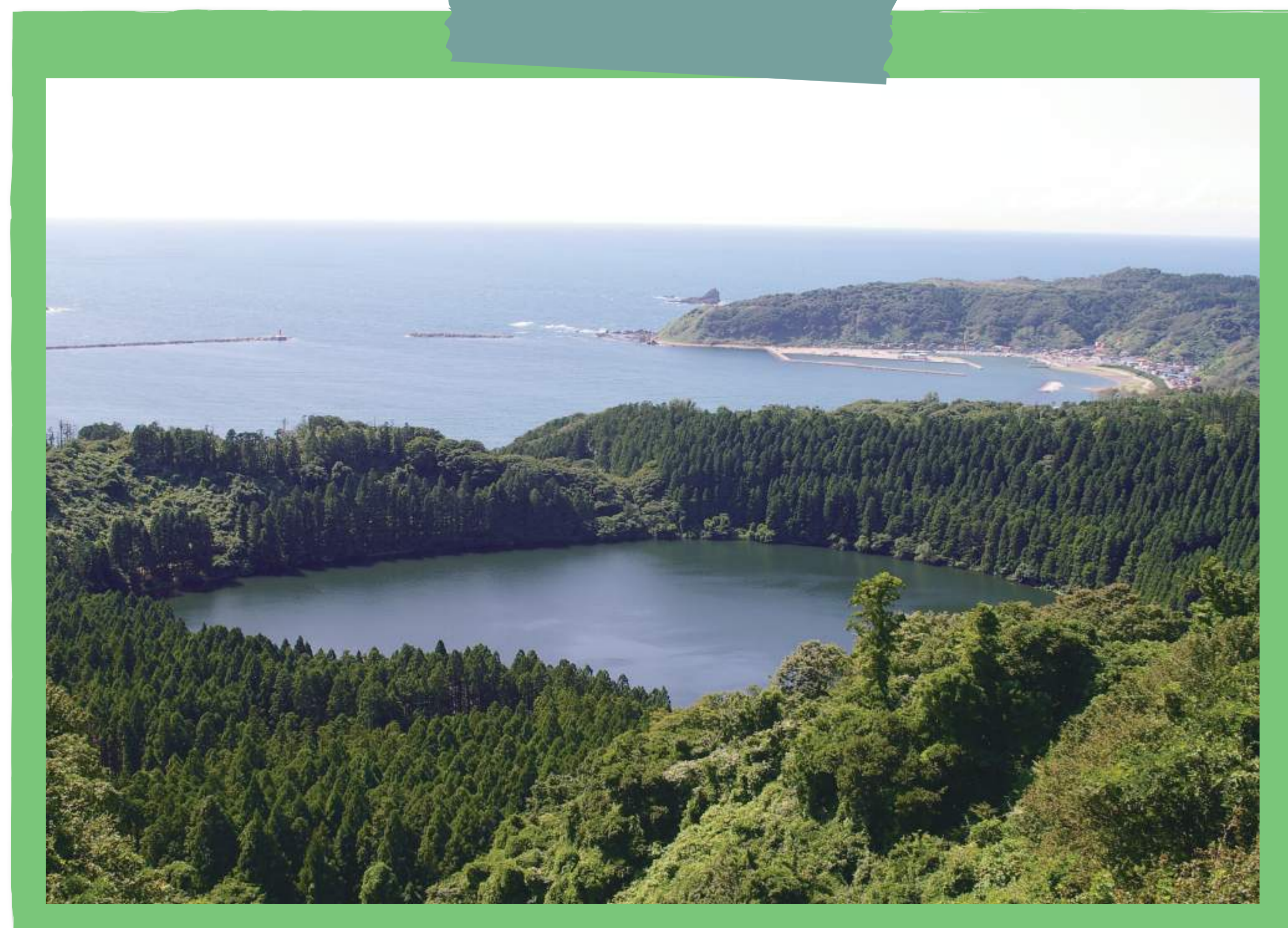


ふ〜ん



山だけが火山じゃない

一ノ目潟、二ノ目潟、三ノ目潟は、湖だけど火山です。噴火口に水がたまって、現在の姿になりました。一ノ目潟からは、かんらん石や年縞堆積物など、地球を知るための貴重な資料が見つかっています。



さあ、出かけよう！

約30km四方に収まる、コンパクトな男鹿半島・大潟ジオパーク。約7,000万年前から今日までの「大地の歴史」が目の前に広がります。車を降りたら5分でジオサイト!!

へえ



非公認キャラ：グリーンタフ



ふんかこう ドライブできちゃう噴火口!?

男鹿のシンボル寒風山は、様々な火山地形をドライブやトレッキングで簡単に巡れるおすすめスポットです。近くには寒風山に降った雨が約20年かけて湧出している滝の頭湧水かしらがあり、知る人ぞ知る名水です。

う 埋めてません!! 汲んでます!!

大潟村(八郎潟干拓地)は、当時日本で2番目に大きな湖だった八郎潟の水を抜いて出てきた大地です。深さによって様々な貝殻が出てくこともあり、八郎潟の環境の移り変わりがわかります。





おこめ おみそ おさけ

農家さんのたっぷりの愛情とミネラル豊富な大地の恵み^{ジオ}を受けて育った大湊村のお米です。特別栽培・有機米など、農家さんのこだわりのお米とそれらを加工した味噌、お酒。ここでしか手に入らない逸品です。

君には何に見えるかな？

男鹿半島の人気映えスポット！ 怪獣の皮ふのようなゴツゴツした岩は、火山噴火で流れてきた火山灰や火山礫が固まったもの。ゴジラ岩は、風や雨や日光で削られて生まれた自然の彫刻だ。しっぽ岩やガメラ岩もあるぞ。



なるほど



変わらないモノ。変わる場所。

日本の陸上で唯一、10度区切りの経線と緯線^{けいせん いせん}が交わる場所として、昭和48年に建てられた塔です。場所の測り方が、日本基準から世界基準に変わったため、現在の公会点は、ここから南東に430m移動しました。

